

2021年9月1日
月島機械株式会社

「酒田市クリーンセンター消化ガス発電事業」を開始
～民設民営方式のFIT事業～

月島機械株式会社（社長：福沢 義之）は、ヤンマーエネルギーシステム株式会社、TC月島エネルギーソリューション合同会社と構成する共同企業体で、酒田市と「酒田市クリーンセンター消化ガス発電事業」（以下、「本事業」）を開始しましたので、お知らせいたします。

下水汚泥処理の過程で発生する消化ガスは、メタンを主成分とする可燃性ガスであり、未利用の再生可能エネルギー源であることから地球温暖化対策・脱炭素社会への貢献として有効利用が期待されています。

本事業は、民間の資金とノウハウを活用した民設民営方式による下水処理場での消化ガス発電事業であり、当企業体が資金調達して発電設備を建設し、「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」に基づく固定価格買取制度（以下、「FIT」）を利用し、酒田市クリーンセンターで発生する消化ガスを有効利用して20年間の発電事業を行うものです。

当企業体と酒田市は、2020年1月24日に本事業の「基本協定」を締結、2021年3月19日付で事業契約を締結し、本年9月より事業を開始しました。本事業では、酒田市は事業資金が不要でありかつ資産の所有も必要ありません。また、当事業体に建設用地および発電の燃料となる消化ガスを提供することで、その対価を得て下水道事業の新たな財源に活用します。

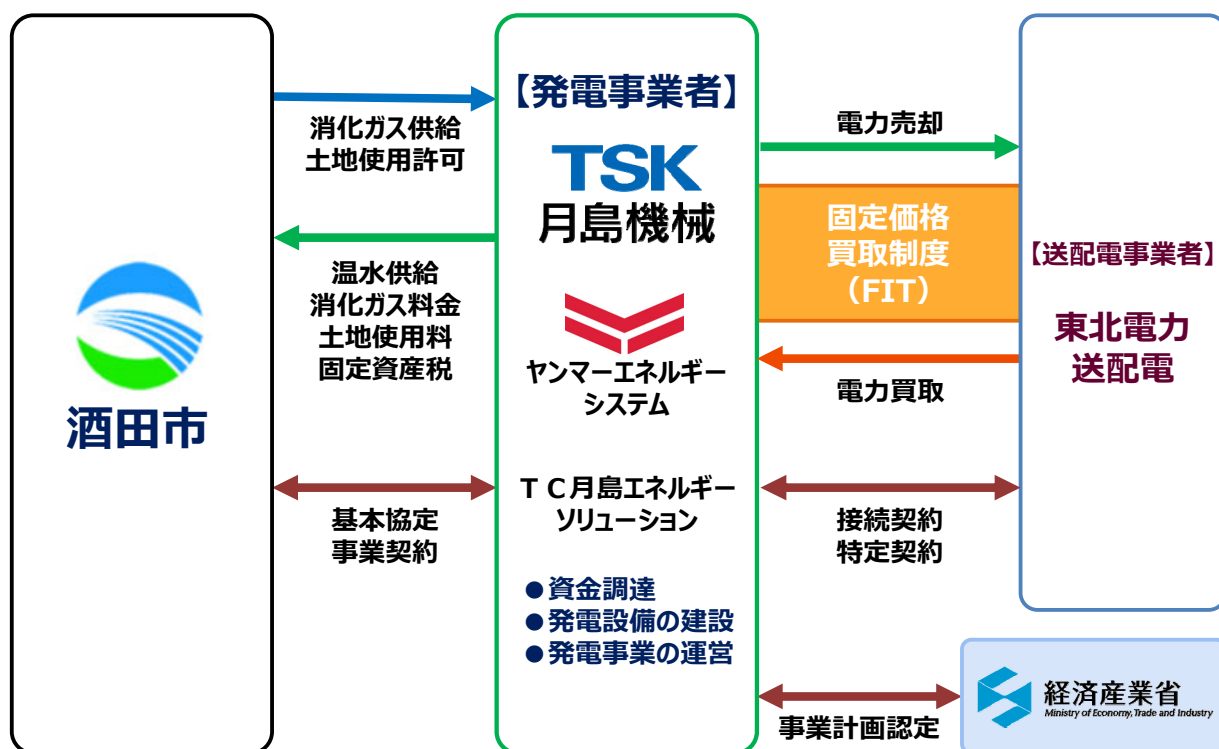
当社は、下水処理場における汚泥処理に強みを持ち、汚泥消化設備、ガス貯留設備および発電利用設備の豊富な実績を誇るとともに、上下水道におけるPFI・DBO事業をはじめとした「ライフサイクルビジネス」を積極的に展開し、長期事業運営に必要な豊富な実績とノウハウを培ってまいりました。本事業においてもそれらを最大限に活かし、効率的で安定した発電事業の運営を行うとともに、これからの脱炭素社会、気候変動対応に貢献する消化ガス発電事業の普及拡大に向けて、積極的に取り組んでまいります。



消化ガス発電設備

酒田市クリーンセンター消化ガス発電事業の概要

1. 事業名 : 酒田市クリーンセンター消化ガス発電事業
2. 事業場所 : 山形県酒田市東泉町2丁目1番地の1
(酒田市クリーンセンター内)
3. 施設概要 : 消化ガス発電設備 1式
設備容量 150kW (ガスエンジン 25kW×6台)
4. 年間発電量 : 約120万kWh (一般家庭 約300世帯相当)
5. 発電事業期間 : 2021年 9月 ~ 2041年 8月 (20年間)
6. 事業スキーム



《本リリース に関するお問い合わせ先》

月島機械株式会社 経営統括本部 広報室

TEL 03-5560-6503

《消化ガス発電事業 に関するお問い合わせ先》

月島機械株式会社 水環境事業本部 PPP 事業推進室

TEL 03-5560-6540

以上